

## 宮島と瀬戸内海が一望できるまち

いのくち すず みね

# 井口・鈴が峰

### 〔地名の由来〕

(井口) 宮島に渡る船から見た井口山(鈴ヶ峰)が、「猪の口」の形をしていた事が、地名につながったという説と、昔、「江」は港を表す言葉で、港の入口つまり「江」の口がなまって「井口」に変わったとも言われています。

(鈴が峰) その昔、高台に住んでいたお坊さんが村を襲う大波をいち早く発見し、鈴を鳴らして村人に知らせ皆が助かった事から「鈴が山」「鈴が峰」と呼ぶようになったという説や、山の小石がくずれ落ちる音が鈴が鳴るようだったからという説があります。

## ② 井口・井口明神を散策



⑦八幡川河口にはゴイサギやカモメ、マガモ、サギなど多くの種類の水鳥が集まる。マップA-8



⑧己斐旭山神社の分神をお祀りしたといわれる小己斐明神の鳥居。宮島の大鳥居と同じ造りで、海水が流入している。マップB-7



⑨「海と島の博覧会ひろしま」の開催に併せてできたペDESTリアンデッキ。動く歩道もある。マップB-7



⑩商工センター内のランニングコースは、井口高校発着の3kmのコース。マップB-7

## ④ 井口の神楽

毎年10月の第3日曜日に大歳神社で秋の例大祭が行われ、宵宮に神楽舞がある。神楽は12神祇から構成され、それぞれに表裏二つの舞があり、計24演目。現在は17演目ほどが演じられている。なかでも関、大蛇の迫力は満点。舞の間には、手作りの大筒花火(煙硝)があり楽しさも倍増。神楽は、300年以上前から演じられ、現在はこども神楽として受け継がれている。マップA-7



## ① 世界文化遺産「宮島」を一望

高台に位置する井口・鈴が峰・井口台からは、世界文化遺産であり、日本三景として名高い宮島が一望出来る。「安芸の小富士」といわれる似島もよく見える。



宮島の全体像……女性が横たわっているような形をしているのが特徴

## ③ 鈴が峰・井口台を散策



⑪高台にある鈴が峰公園展望台から瀬戸内海や宮島などが一望できる。マップB-6



⑫広島藩最後の藩主浅野長勲の筆による「鈴峰」と書かれた自然石がある。残念ながら2001年芸予地震で倒壊。マップA-6



⑬鈴が峰公園から臨む夜景。インターネットでも見られる(広島市→こむねっとひろしま→鈴が峰第二住宅自治会→広島の夜景)。マップB-6



⑭セットバック式住居。段々畑のようになった住宅。昭和61年(1986年)建設。マップB-6

## ⑤ 鈴ヶ峰山ハイキング

毎年4月初旬に開催。約100人の参加者が鈴ヶ峰山に登り、ゴミ拾いや桜の植樹なども行いながら親睦を深めている。マップA-6



# 西区内を もっと詳しく知ろう！ 各エリアごとのマップもあるよ



詳しくは、お近くの西区内公民館まで。

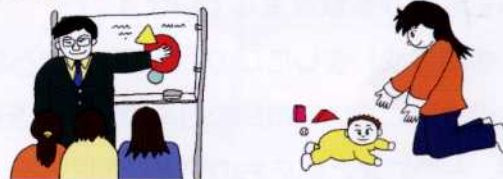
## 公民館は まちのオアシス

**グループ活動や地域活動で利用**  
目的に合わせた部屋の利用ができるよ。



**講座・学習会へ参加**

公民館だよりやHPを見てね。乳幼児から高齢者まで大歓迎！

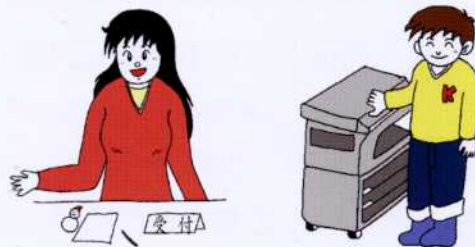


**図書室やロビーを利用**

図書の閲覧や貸出し、各種行事のチラシなどで情報をゲット！



**学習相談や印刷サービスを利用**



お気軽にご利用ください。